第 9 回（令和 5 年度第 2 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　　新堀小学校区連絡会
　　代表者　　会長　金森忠志

２　開催日等
（１）開催日　令和 5 年 9 月 16 日（土）
（２）会　場　新堀公民館
（３）テーマ　新堀地区の今後について
　　～市長と考える将来像と具体策～

３　意見交換の概要
※　［　　］内はミーティング終了後、所管課で補足したものです。

市民　「熊谷市都市計画マスタープラン」の中で、新堀小学校区を含むこの西部地域は、「人々が訪れ、住み続けたいと思う調和型の地域」と位置付けられ、「副都市拠点を中心に、全世代が暮らしやすい良好な住宅地や、スポーツ・文化・自然に親しむ環境、産業の場がバランスよく調和した地域を形成します。」と書かれていますが、例えば、「生活利便性を高める都市機能の誘導」は、具体的にどうするのでしょうか。また、総合病院、図書館などを籠原駅周辺に誘致する考えはありますか。

市長　この地域は熊谷市にとっての副都心であり、人口が多い密集地域でもあります。籠原駅北口は、ほとんど住宅地域になっていますが、籠原駅南口の県土整備事務所の先は駅から歩いて 5、6 分にもかかわらず青地なのです。そこに医療機関等の立地を可能とする新たなまちづくり検討エリアの位置付けをしました。

　図書館については、新堀小学校の統廃合後の跡地に（仮称）西部生涯活動センターと一緒につくる予定でした。この地域には住みたい人がたくさんいますので、住民を増やし、できれば新堀小学校を残していくことも考えたい。そうなると予定をしていた図書館が少し先に延びることにもなります。

市民　新堀公民館の南側で高崎線までの間にスマートエコタウンが造成されるという話を聞いています。地権者間では説明会等を進められているようですがなかなか情報が入ってこないので可能な範囲で説明をお願いします。

市長　スマートエコタウンについては、地権者の賛同を得ながら進めています。暑い熊谷を涼しく、また一年を通して快適に暮らすために、住宅建設と併せて様々なデータを集め、熊谷に適した住宅造りを熊谷モデルとして全国に発信

していきます。駅から近く、学校からも近いこの場所を選びました。籠原エリアのイメージアップにつながり居住者が増えれば、新堀小学校の廃校は、少子化ですからなくなるとは言えませんが、少しでも先に延ばすことが期待されます。これからの新堀地区をしっかりと守るためには必要な施策だと思っています。

都市整備部長　組合施行の区画整理方式とし地権者20人の合意により進めています。面積は約3.5ヘクタールで総事業費は約15億円です。国や市で事業費の助成を予定しています。公共施設として中に幅が原則 6 メートル以上の道路をつくり、調整池や公園、上下水道を整備します。住宅戸数は約100戸、1区画の面積は165㎡、約50坪を想定しています。住宅と2台分の駐車場が確保できます。

　今後、令和 6 年 9 月頃に、都市計画決定の公告を行います。諸手続きを進め、令和7年度の後半から工事に着手し、令和8年度末事業完了を見込んでいます。

市民　小学校の統廃合について、今後のスケジュール等を教えてください。また統廃合により通学路が長くなる児童が増えて、交通事故や犯罪等のリスクが高くなると思いますが、その対策についてどのようにお考えですか。

市長　まず令和7年、男沼、太田、妻沼南小学校の統合。その次の長井、秦小学校では保護者への説明を始めました。この先はまだ流動的です。

　地域の皆さんの御理解をいただきながら、空家の活用や土地の流動性を高め、若い方をどんどん新堀に呼び込んでいただければ、新堀小学校の廃校先延ばしや見直しもありえます。まだ明確な日程が決まっていないというのが答えです。

市民　下校ボランティアについては人集めが大変ですし、同じ方が15年以上続けてくれたり、高齢でやめたいのに何とか続けてくれている方など、本当に頭の下がる思いです。県南では公の機関から助成が出ていると聞いていますが、熊谷市では有償ボランティア化のような考え方はありますか。

市長　市から小学校区に「くまがや市民まごころ運動奨励金」を出しています。誤解されていたかもしれませんが、このお金を使っていただくことも可能です。

　今、市では、クマポ（熊谷コミュニティポイント）をつくって、使い方を検討しています。通院や買い物などを手伝っていただいたときに、お金の代わりにポイントを渡すということなのですが、ボランティアの皆さんにポイントをお配りして、節目の年に表彰するような案も出ています。

市民　宝性寺の裏手の通学路はちょっとした雨で冠水します。令和元年 9 月に「冠水対策工事」の陳情をして、今年の 1 月にＡランクの評価をもらいました。すぐやってもらえるのかと思ったら、市の担当者からはＡランクもたくさんあるので６年か 7 年かかりますとのことでした。もう少し早くできませんか。

市長　今後の計画では令和 6 年度に現況測量、7 年度に 4 メートルの幅で寄附を受け入れ、令和 8 年度に工事を行う予定です。その道路の両側の地権者のみなさんの御協力があってこの事業が進むということを御理解いただきたいと思います。

市民　ホンダカーズの西側の用水路は大里用水土地改良区に電話すると 2、3 日で草刈りをしてくれました。年に 3 回から 4 回やりました。大里用水から市に管轄が移り、5 月の下旬に河川課に電話しました。そうすると 6 月は梅雨時で雨が多いので 7 月にやりますと言われましたが結局来たのは 8 月 30 日です。

大里用水の話では、用水として用を成さないものはどんどん市に移管していくということでした。蛇は出ますし、虫はいますし、みんな迷惑しています。

市長　今年から熊谷市に用水が移管され草刈りは年に 1 回に変わり、御迷惑をおかけしたことをお詫びします。

用水として機能していないことは承知しています。草も生えず、なおかつ都市にとって必要な水の逃げ場として使うにはどうしたらいいか、今後検討したいと思っています。素掘りでないもっといいかたちにできないかということも今後検討をさせていただきたいと思います。

市民　雨が降れば水が溜まり、排水溝はほとんど役に立っていません。草刈りをしても、3 カ月もすれば元通りです。大里用水でやってくれたことがどうして市になったら年に 1 回になるのか。今後こういうところが増えてくると思います。

市長　そこのところもしっかりと検討したいと思います。

（河川課） 素掘りの水路については、地域からの要望により排水路整備工事を実施しています。当該水路の排水路整備工事を要望する場合には、自治会の皆さんの意見を取りまとめていただき、自治会長を通して市へ要望書を提出していただくことになります。

なお、市内工事要望箇所を順次実施していることから、たいへん申し訳ございませんが要望から工事実施まで数年かかることを御理解いただきたいと存じます。

市民　籠原駅北口の区画整理の進捗に伴い町名変更があると聞いてます。新しい名称や区分などを御説明いただけますか。また、町名変更しない地区が「新

堀」のままと聞いていますが、飛び地になることもあるのですか。

市長　令和 7 年度以降に新しい町名に変わります。籠原駅の北西から反時計回りに 1 丁目から始まってぐるっと 4 丁目まで、これが籠原と名のる地域になります。それ以外は新堀として残ります。

市民　公立中学校の部活動の地域移行について熊谷市の取り組み方を伺いたいと思います。地域移行が行われると運動場や施設の場所による交通事情や有料のクラブチームなど家庭の経済的な負担が出てくることが予想されます。その場合の施設の使用料や指導料などの補助や、地域や家庭の事情等で子どもたちがやりたい種目をあきらめることがないような環境整備をお願いします。

熊谷市はスポーツ活動を活性化させる政策を行っており、市独自の健全な育成を目指した部活動や平等な選択機会、地域愛をはぐくむ環境を提供して、子どもたちに魅力的な居住地として感じてもらえる政策を期待しています。今後どのように地域移行していくのかお伺いします。

市長　地域移行については、文部科学省からスタートしている事業です。埼玉県がそれを取り上げて、熊谷市も運動部活動の地域移行に関する実証事業に取り組むことになりました。すでに今の段階で子どもたちの移動や財政的な問題など、課題が見えてきています。

地域移行は、先生の負担を減らすということもありますが、子どもたちの選択の幅を広げることもできます。子供たちがやりたいスポーツができる環境づくりをまず第一に考えながら対応したいと考えています。

今後、部活動のガイドライン、熊谷モデルをつくっていきたいと考えていますので、その時にはよろしくお願いします。

（学校教育課） 熊谷市では、部活動地域移行、地域連携に向け、今年度、国のモデル事業「運動部活動の地域移行に関する実証事業」に参加します。部活動における生徒が地域でスポーツに継続して親しめる環境整備のための実証を行います。具体的には、拠点校を設置し、特定の部活動における休日の活動を、外部指導者人材バンク等から派遣された指導者により行います。拠点校の生徒だけではなく、近隣の学校の生徒も参加可能にする方向で調整をしていきます。

本事業を実施して、協議を重ね、部活動地域移行、地域連携に向けた課題を明確にして、課題解決に取り組んでいきます。

市民　市長の「高速道路を熊谷へ！」という公約をお聞きしていますが、その後の変化等があったかどうかお聞きします。

それと、先ほどのエコタウンの話で、幅 6 メートル以上の道路にするという

ことですが、そこまでの連絡道路はどのように考えていますか。

市長　まず高速道路について、私は、首都高速道路に接続する高規格道路の熊谷までの延伸の早期事業化を目指し、事業主体となる国土交通省を自ら訪問し整備促進を要望するとともに、副市長２人体制とし国土交通省から副市長を招き対応に当たるなど、事業の進捗に向けて着実に取り組んでいるところですが、まだ具体的な事業着手には至っていません。

　このような中で、二つ大きな変化がありました。一つは利根川新橋です。赤岩渡船付近に橋を架けるため、群馬、埼玉の両県において、今年度、測量調査等を実施する予定とのことです。もう一つは国道 17 号から熊谷市役所の入口に（仮称）北部地域振興交流拠点施設建設予定地（コミュニティひろば）があります。これについても早期整備することを大野知事と話し合っています。その中で、熊谷にとって一番大きな動脈がまさにその高速道路だと思っていますので手を緩めずに進めていきます。

都市整備部長　エコタウンの中の道路は、東西に幅が原則 6 メートル以上で整備します。抜け道になったりスピードを出す車が出ると危ないので、今の周りの道はそのままにします。多少の整備をしてうまく据え付けたいと考えています。

市民　現在、学校施設の中で冷暖房が効いている場所が教室とかに限られています。特別教室といわれる図工室や家庭科室等は一切ついていません。暑さ対策日本一とうたっている割にはどうなのかなと。人口を増やすためにも、学校のこのような設備もある程度そろえた方がいいのかなと思います。

市長　今までは理科室や音楽室を除く特別教室や体育館についてはたまにしか使わないだとか体育館も運動場と一緒だということで冷房設置の考えはなかったのですが、今は課題の一つとして受け止めています。学校の施設としてか、災害時の避難場所としてか補助金のことやランニングコストを考えながら、結論を出していきます。

市民　籠原中央第一土地区画整理事業の進捗状況、完了見込み予定年月等について教えていただきたいと思います。

　また、区画整理地内の道路の交差点等は、道路標識や停止線等が非常に少なく、表示されている停止線等も大変薄くなっているので、交通事故防止の観点からも標識や停止線等について早急に取り組みをお願いします。

市長　交通規制の看板や道路に書いてある停止線はほとんど警察の管轄になりますので、警察に話をして対応させていただきます。

都市整備部長　令和 5 年度末現在、事業費ベースで 98.9 パーセント、建物移転

率で 99.8 パーセント完了しています。換地処分は令和 7 年度以降の予定です。

市民　深谷市は燃えるゴミの収集が週４回だそうですが、熊谷市でも少なくとも週３回くらいに増やしてほしいのですが。

市長　これについては、検討の時間をいただきたいと思います。一つは焼却場の建て替え計画との関係があります。ゴミの量によって規模が変わりますので。2 点目、深谷市が民間に 100 パーセント任せているのに対し、熊谷市は災害時の対応のため直営部分を 30 パーセント残していることです。

また、あまり成果は出ていませんがごみの排出量削減に協力いただいており、どうしたら収集回数を増やせるのかこれから協議させていただきます。

（環境推進課） 燃えるごみの週3回収集については、ごみの増大につながる恐れがあることから、これまで実施を見送ってきましたが、実際にどの程度の増減があるのか、市内にモデル地域を選定するなど、地域内における排出量等の現状把握と、収集方法等の検討を行いたいと考えています。

この結果を踏まえるとともに、ごみ減量への新たな取組や新ごみ処理施設の規模等を勘案し、新施設の稼働までに方針を出したいと考えています。

市民　通学路の安全確保について、区画整理が進み今までと環境が変わりました。その辺を考慮した通学路の設定はできませんか。また、歩道橋は雨や雪が降ると滑って転倒する恐れもあるので、改善はできないでしょうか。

市長　通学路は変えることもできますが、皆さん方の経験等を踏まえて決められているものと思います。学校、ＰＴＡ、教育委員会で協議をしてください。

歩道橋が危険だからといってなくしてしまうと、かえって危険が増すような気がしますので気を付けて渡っていただくようお願いします。

（教育総務課） 歩道橋での転倒防止については、歩道橋の管理者に修繕要望等を提出してください。なお、国道17号に設置している歩道橋であれば、大宮国道事務所熊谷国道出張所が管理しています。

市民　小学生が遊べるプールを作ってほしい。アクアピアは幼児プールはありますが小学生用のプールがないので。

市長　市民プールが昨年閉鎖しましたが、ピークの昭和 53 年には 12 万人だった来場者が平成 30 年、令和元年には、年間 2 万 3000 人、1 万 9000 人と六分の一に下がりました。プールに対するニーズが比較的下がってきているものと思います。泳ぐのであればアクアピアを御利用いただきたいと思います。

今後プールの隣の公園を水遊びできる親水型の公園に改修しますので、幼稚

園ぐらいまでのお子さんならばそこで楽しんでいただけると思います。

市民　近隣の公園で、サッカー禁止等制限がある場所が増えています。禁止事項を増やすのではなく設備の充実により危険でない施設にしてほしいです。

市長　公園のボール遊び、特にサッカーについては必要に応じ地域の皆さんとルールを調整して決めています。公園の近隣の方の御理解があれば、変わる可能性もあります。

（公園緑地課）公園は幅広い利用者の安全面の確保や、ボールの騒音、飛び出しの危険性などへの配慮が必要なため、ゲーム形式で行うサッカーやその他球技については、運動公園等、広いグラウンドを有する公園を御利用いただくなど御理解いただきたいと存じます。

市民　市長の夢として、熊谷ラグビー場で日本代表の試合をやりたいという夢があると思いますが、実現の可能性はどのくらいですか。

市長　実はそのことで今月の 12 日に県庁で大野知事に会いました。熊谷、そして埼玉県をラグビーの聖地としてアピールするためにも代表戦を実現させようと話しをしてきました。これだけ環境のいい場所ですので自信はあります。